

# Uila uObserve 評価ガイド

Rev.1 2024/07

株式会社東陽テクニカ

情報通信システムソリューション部

# 本ドキュメントについて

- 本ドキュメントでは、Uila uObserveをVMware vSphere環境にてご評価いただく際の事前準備等について解説します。
- Microsoft Hyper-V、Nutanix AHV、OpenStackなど、VMware vSphere以外の環境での評価については、本ドキュメントでは解説しません。また、VMware vSphere環境であっても、Horizon VDIモニタリングなどのオプション機能を利用しての評価についても本ドキュメントでは解説しません。
  - これらの環境での評価をご希望される場合は、東陽テクニカの営業担当者、または東陽テクニカUilaサポート窓口([uila-support@toyo.co.jp](mailto:uila-support@toyo.co.jp))までお問い合わせください。
- 本ドキュメントの不明点などについては、東陽テクニカの営業担当者、または東陽テクニカUilaサポート窓口([uila-support@toyo.co.jp](mailto:uila-support@toyo.co.jp))までお問い合わせください。

# 事前準備

## 作業端末

- 》 vCenterおよびインストール後のUMASにブラウザで接続可能なもの
- 》 vCenterからVMのWebコンソール、もしくはリモートコンソールを使用する必要があります

## Uilaインストーラファイル(ovaファイル2つ)とインストール手順書のダウンロードと作業端末への保存

- 》 ダウンロードについては「インストーラとインストール手順書のダウンロード」スライドをご参照ください。

## UMAS、vICインストール先ESXiホストの選定

- 》 UMAS、vICのシステム要件については、弊社HP内の「Uila システム構成詳細と要求仕様」(<https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/uila-010.html>)をご参照ください
- 》 弊社HP内の「Uila システム構成詳細と要求仕様」(<https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/uila-010.html>)には、Uila uObserve基本コンポーネントであるUMAS、vIC、vSTの概要についても説明が記載されています。
- 》 UMASのストレージについては少なくすることも可能ですが、手順については東陽テクニカの営業担当者、または東陽テクニカUilaサポート窓口([uila-support@toyo.co.jp](mailto:uila-support@toyo.co.jp))までお問い合わせください。また、データ保持期間が短くなる可能性があります

## UMASが使用する管理用IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバ、NTPサーバの選定

## vICが使用する管理用IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバ、NTPサーバの選定

## vSTが使用する管理用IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバの選定

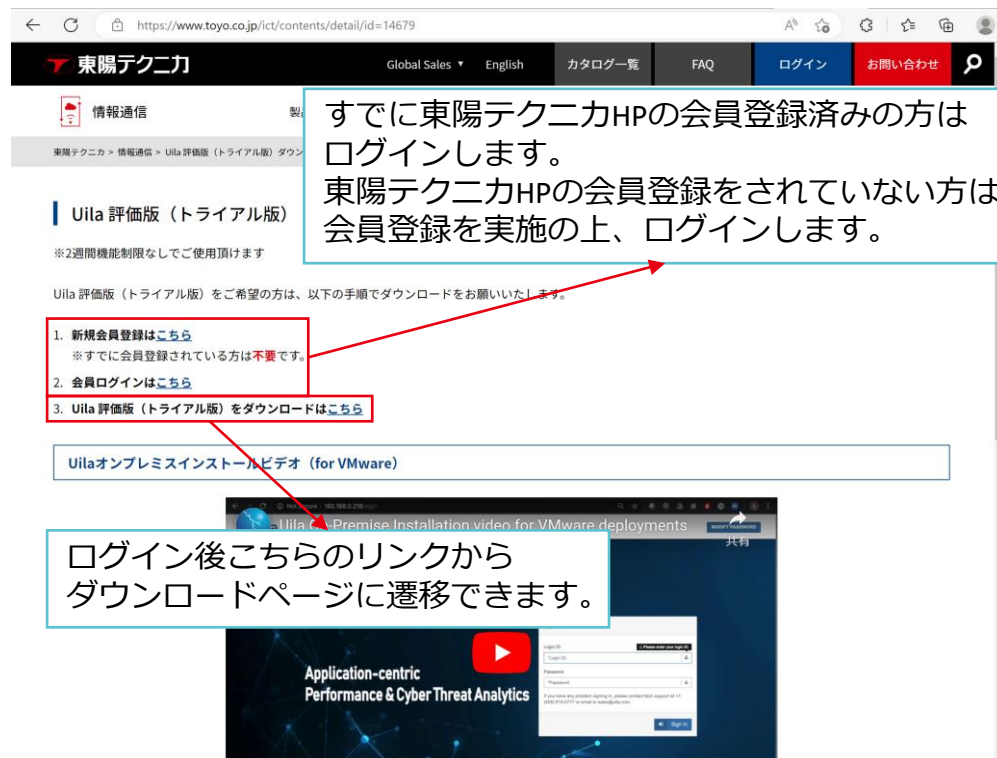
- 》 vSTは監視対象ESXiホスト(本PoCではXX台)に1つずつインストールするため、それぞれについて選定が必要

## vCenterのIPアドレス、管理者ユーザ名、パスワードの確認

# インストーラとインストール手順書のダウンロード



<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html> にアクセスし、「無償トライアル版ダウンロード」をクリック



ログイン後こちらのリンクからダウンロードページに遷移できます。

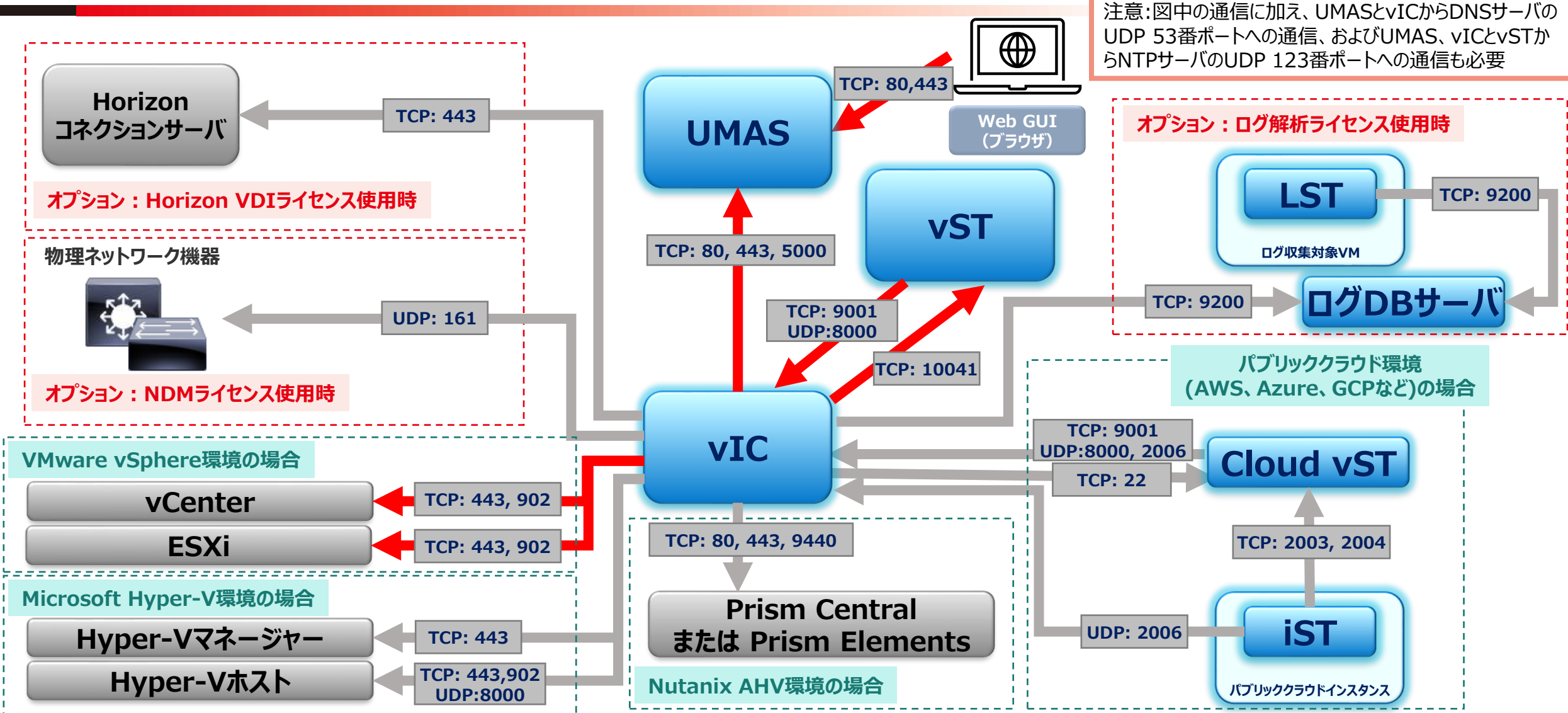


インストーラファイル2つと手順書1つをダウンロードします。

# 動作概要 (通信要件)

本ドキュメントの解説対象としているVMware vSphere環境でのオプション機能を使用しない評価の場合は、赤い矢印で示した通信のみが発生

注意: 図中の通信に加え、UMASとvICからDNSサーバのUDP 53番ポートへの通信、およびUMAS、vICとvSTからNTPサーバのUDP 123番ポートへの通信も必要



“はかる”技術で未来を創る



**東陽テクニカ**



**uila**

<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>